

向台小学校 PTA 会員の皆様

向台小学校 PTA  
会長 稲生 亜友美

## 令和3年度 第3回 PTA 運営委員会報告書

令和3年度第3回 PTA 運営委員会について、ご報告いたします。

日 時：	11月18日（木）10:00～11:30
場 所：	ランチルーム
出席者：	P-40名（学級代表、校外委員、厚生委員、広報委員、 役員選出委員、会計監査、執行部） *学級代表は1クラス1名、各委員は代表者1名
	T-1名 副校長先生
司 会：	副会長 田邨 未和子
記 録：	庶務 原 涼子、平塚 真子、戸本 堅固

### 1 開会（副会長）

### 2 会長挨拶【稲生 亜友美 会長】

おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。第3回運営委員会で初めてお目にかかることができ嬉しく存じます。今年度会長を務めています稲生と申します。よろしくお願いいたします。

先日行われました演技発表会では、天候にも恵まれ、保護者の皆さまのご協力とお手伝いに感謝申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

### 3 学校挨拶【畑 大介 副校長先生】

おはようございます。本日はありがとうございます。久しぶりにこの会が開催できたので、皆様のご意見がいっぱい聴けると思い、楽しみにしております。

教育DXという言葉をご存じでしょうか。Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）と言いまして、学校のこれまでのやり方を見直して、パソコンなどを活用しながら教育課程を見直し、もっと考え方を刷新していきましょう、という大きな枠組みでの取り組みのことで

そんな中で、子供たちに求められている力が、3つあります。

1. 自ら考えて動く力：「生きる力」「生き抜く力」
2. 自ら学ぶ力：「独学力」で、体系化されたことだけを学ぶのではなく、自分で学んでいく力
3. 自ら創る力：創造力

今の時代、この3つの力が求められています。自分のお子さんは、どうでしょうか。私も含め、まだまだ足りないなと思うところがあります。既定のモノに捉われて、受け身になってしまってい

ないでしょうか。

先日行われた演技発表会も昔の運動会と比べると、物足りなさを感じている方もいるかもしれません。演技発表会では、徒競走などをやってほしいなどの多くのご意見をいただきました。そういったお気持ちよく分かります。しかしながら、安全・安心といった観点から、お子様に対して2名の保護者のご参列に制限したとしても、本校は約700世帯ありますので、単純計算すると1400名の保護者と900名の児童で2,300名が限られたスペースの校庭に集まることとなります。こういった状況のなかで、どういった方法で行うのが良いかと検討を重ねました。また、前の年のアンケートのご意見の中にも、演技発表会なのにどうしてリレーを行うかなどのご意見もありました。それらのご意見も踏まえて、本年度の演技発表会を行ったところです。そして、事故なく無事にできたことが、まず良かったとことです。

さて、PTAでも、今年ミマモルメが新しく導入されました。これにより、印刷の手間や紙の削減ができ、また、データで保管することで何度も見直すことが容易にできるようになりました。新しいことを行っていくことは、手探りになり、課題も出てきますが、新しいことに対して試行的に取り組み、みんなで少しずつ改善していく姿勢が大切だと考えます。本日は、新しい提案もありますので、私も楽しみにしております。新しい提案に対して、良い・悪いではなくて、ここの部分をこうすると、もっと良くなるよね、というような「熟議」ができたらいいと思います。熟議とは、「熟慮」(じゅくりよ)と「議論」のことで、それらができたら良いと思います。皆さんの後押しをお願いします。

#### 4 役員・委員紹介

対面でのPTA運営委員会の開催は、今回が本年度初めてのため、本会議の出席者の紹介(係名と名前のみ)をしました。出席者は、本報告書の冒頭に記載あるとおりです。

#### 5 会計監査報告

##### (1) 会計監査の実施

上半期決算を9月末でしめ、10月15日に監査を受けましたことをご報告いたします。詳細は別添え資料の決算報告書をご参照ください。

続いて、会計監査報告を会計監査の吉田さんをお願いしたいと思います。

吉田さん、よろしくお願ひいたします。

##### (2) 会計監査員より

令和3年10月15日金曜日にPTA室にて会計監査を実施したところ、適正に処理されていたことをご報告いたします。

##### (3) 上半期決算の承認

ありがとうございました。

それでは、上半期決算報告書を承認してくださる方は挙手をお願いします。

(挙手の数を確認)

ありがとうございました。過半数を超えましたので上半期決算報告書は承認されました。

本日お配りした決算報告書は流出を防ぐため本日運営委員会終了後に回収させていただきます。お持ち帰りにならないようお願いいたします。上半期決算報告・会計監査報告は以上です。

## 6 執行部からの連絡事項

### 【会長より】

#### (1) 学校運営連絡協議会について

10月28日(木)に第2回学校運営連絡協議会に出席しました。校庭では5・6年生がお互いの演技を見て意見の交流をしていました。どの学年も自分の意見を伝えるということに力を入れているように感じました。

向台小学校はコーディネーション地域拠点校として体力向上に力を入れています。家庭でも取り入れられる運動もありますので、お子様と一緒に取り組んでみてください。

また地域の方々から家庭環境の重要性について貴重なご意見をいただき、私たち保護者は傍観者ではいけないと感じました。ぜひ今一度、各家庭でタブレット使用のルールや登下校時の交通マナー、学校での出来事などを話し合うなど、子どもと向き合う場を設けてください。

#### (2) 市懇談会について

11月10日(水)に市長・教育長との懇談会に出席しました。向台小学校からの個別要望に対する回答は例年年度末となっていますので、回答が届き次第、ご報告させていただきます。

小中学校全体要望と小学校全体要望の回答を報告します。

#### 【小中学校全体要望】

##### ①タブレットPCを安心して使用できる体制の構築

破損した端末の対応につきましては、保険加入は非常に高額となることから、予備機の調達によって対応を行ってまいります。また、各校への予備機の整備につきましては、すでに実施しております。一方で、タブレット端末は高額なものですので、ご家庭におきましても、これまで同様に破損しないようご指導のほどよろしくお願いたします。

##### ②市内小中学校が抱えるトイレ問題の改善

トイレ環境の改善については、改修を早期に計画すると共に、必要に応じて修繕等での対応を行ってまいります。今後もトイレ環境の改善に向けた取り組みに努めてまいります。

##### ③不登校、ひきこもりの児童・生徒、その保護者のためのフリースクールの増設

不登校ひきこもり相談室「ニコモルム」は、相談や居場所の提供、家庭訪問等の支援を行っています。他にも、適応指導教室として、「スキップ田無教室」と「スキップ保谷教室」の2か所を設置しております。また、教育相談センターでは、継続的な相談を心理カウンセラー(臨床心理士)が行っております。

今後も、これらの相談体制を総合的にとらえて、不登校やひきこもり傾向にある児童・生徒の支援の充実に向けて取り組んでまいります。

#### 【小学校全体要望】

##### ①35人学級への全学年への早期実施

35人学級の早期実施については、国の計画よりも前倒しで実施することは難しい状況です。引き続き、法律及び東京都の基準に基づき学級編成を行ってまいります。

##### ②給食室へのエアコン設置

給食室のエアコンの設置については、施設状況等を踏まえ、方向性を検討してまいります。

### ③校庭の整備

校庭の改修については、多額の事業費を要するため、財政状況を踏まえ、計画的な対応を検討してまいります。

## (3) 互選会について

まず執行部互選会については、皆さまのご協力により 11 月 14 日(日)に互選会を行い、来年度の役員を選出することができました。

次に校外役員選出については、次期執行部立候補者信任投票後、次期校外役員を募集します。第 2 次募集まではお便りで募集し、以降立候補者が出ない場合は、各地区代表に立候補者の選出を促していただくものといたします。募集活動は現執行部、現校外役員にて共同で行います。日程や互選会については、「令和 3 年度 校外役員選出日程のお知らせ」をご確認ください。

## 【副会長より】

### (1) 活動報告

#### ①避難所開設訓練

10 月 16 日(土)に例年より縮小した形ではありましたが避難所開設訓練を実施いたしました。コロナ禍を想定しての初めての避難所開設となりました。実際に物品を準備し、体育館や校舎の一部を使用して先生方はじめ市職員、地域の方々、各クラスからの避難所訓練係にも参加いただき、終了後に各班長から今後の改善点や意見等を提出しました。

#### ②むこうだい演技発表会

今年度もコロナ禍を踏まえ、体育館開放及びこみね幼稚園での園庭臨時駐輪場開設は控えめました。来校証確認の校門警備に加え、今年度はトイレ警備を配置し、校内への立ち入りが無いよう見回っていただきました。例年よりもセキュリティを強化した形での校門警備でしたが、係の皆さまのご協力により、トラブル無く行事を終えられたこととお礼申し上げます。来校証を忘れた方には、ご自宅まで取りに戻っていただき、ほとんどのご家庭でマナー遵守にご理解ありがとうございました。

来校証紛失や、プログラムが進むにつれ、取りに戻ると間に合わない等の理由で、一部北門へ回り、在校生チェックを受けてからの入校対応をお願いしましたが、係の配置など課題が残りしました。

次年度は、会期前にご家庭に来校証があるかどうかの確認、係活動の対応方法をより明確化して周知するよう改善いたします。

#### ③施設開放運営協議会

毎月お便りで配布していた「放課後遊び場開放のお知らせ」を 11 月分より学校ホームページへ掲載し、ミマモルメでアップロードのお知らせを配信しました。文書でのお知らせは原則廃止となりますが、職員室前の掲示板と、学童保育、西門への掲示は続けます。

また、学校ホームページに施設開放運営協議会ページを新設して、その他の配布資料なども掲載しております。

なお、10 月、11 月の休日の「校庭・体育館開放」は、体育館空調工事にともない、以下の期間は、通常より大幅に日数を減らしての実施となります。

- ・ 10月5日～14日
- ・ 10月31日～11月28日

#### ④読み聞かせ

緊急事態宣言延長に伴い9月7日(火)の第3回目が急きょ中止となり、「めたせこいや」への記載の他、係の方へお便りにてお知らせしました。10月14日(木)の第4回目は、時差登校のため開始時間に変更がありましたが、事前に連絡できず申し訳ありませんでした。以降、中止や変更はミマモルメのメール配信にてお知らせいたします。

### (2) ミマモルメ実働について

9月に配布したID票(茶封筒)により、98%以上のご家庭にてアプリまたはメールアドレス登録をいただき、全保護者様へのお知らせや係の方への連絡を一斉メール配信にて実働開始いたしました。今後は一斉配信できるものについてはミマモルメを活用していきますので、PTAからのお知らせを受信できるようご協力をお願いいたします。ミマモルメの【アプリまたはメールアドレス】のご登録がお済でない方は、速やかに1児童1登録をお願いします。

ミマモルメ一斉メールに登録すると、新年度に学年が自動更新されます。そのため、委員会や係の方々の連絡先を年度毎に集め直す必要がなくなり、ペーパーレス化だけでなく、PTA業務の大幅な効率化につながります。

各委員会・学級代表より一斉配信の希望がありましたら、配信内容を執行部のYahooメールへお送りください。執行部より配信いたします。

### 【会計より】

#### (1) 来年度の予算について

第2回運営委員会で報告したとおり、来年度の予算を例年どおりの活動を行うことを前提として組みたいと考えています。来年度予算に関しまして、何かご要望がございましたら、2学期中に会計までご意見をお願いいたします。

#### (2) 予算委員会についてのお知らせ

令和4年2月17日、第4回運営委員会終了後、予算委員会を開きます。

学級代表の方は、ご出席をお願いいたします。

## 7 次年度の委員会及び係の見直し

### (1) 改訂版「みんなのPTA活動」について

PTA執行部では前年度より、委員会活動や係についての見直しをしております。

新型コロナウイルス感染状況や皆様の働き方、家族形態の多様化を踏まえて、皆様がよりPTA活動に参加しやすく

「できる人が、できる時に、できることを！！」

を実現したいと考えております。

以下の2案を提案いたします。

案1：1 児童1 役 ⇒ 1 家庭1 役

案2：お手伝い係りを廃止し、ワンデーサポーター『むこサポ』の試行的スタート

※提案内容の詳細は、別紙「来年度の取り組みについて」をご確認をお願いします。

## (2) 質疑応答

提案について出席者から、たくさんのご意見をいただきました。

**少し長いですが、重要なので是非、目を通してください。**

### 専門委員会（広報委員、厚生委員、役員選出委員、校外委員）

案2の「むこサポ」のところで、「むこサポ」はボランティアで募集するというのですが、万が一ボランティアの人数が集まらなかった場合、どのように対応するのか事前に方針を決められた方が良いと思います。結局、今でも活動をサポートする方を選出するのに時間を要する状況なので、今と同じような状況にならないような対策をしておいた方がよいと思います。ご提案資料ですと、ボランティア枠何名というふうに書かれていますが、何名として区切ってしまうのではなく、仮にボランティア枠以上の応募人数があった場合に、多く集まった人たちを削除してしまう必要が果たしてあるのでしょうか。あまりボランティアの人数が多すぎて活動しづらいのであれば、活動の中で役割を分けて考えても良いのではないのでしょうか。

### 学級代表 5年生

まず、ちょっと突然だったので、まだ案1と案2の細かい部分というのが、うまく理解できないのが率直な気持ちです。

まず案1ですけど、各クラスからのお手伝いを予め決めるとともに、「むこサポ」も別に募集するというふうに理解しました。その場合の「むこサポ」は何をするのだろう、というのが疑問に思いました。

案2だと「むこサポ」の中で各行事のボランティアと募るという位置づけだと思うのですが、案1と案2で「むこサポ」の内容が大きく変わるのかな、というのがちょっとうまく理解できないという部分がありました。

仮に案2になった場合、「むこサポ」で各行事のボランティアを募ることだと思うのですが、例えば、演技発表会だと100人程度のボランティアを募らなくてはいけないので、自主的に募って、どこまで手を挙げてくれる人がいるのか、という懸念があります。

また、係の予定は、予め年間スケジュールを知っていれば、会社の休みをとったりできますので、年度初めに決めていただきたいです。急にお問い合わせされても、できなかつたりしますので、その辺を予めどうするかを、決めておいた方がよいという意見が出ました。

### 副会長

「むこサポ」で、ボランティアが出なかった時の対応策ですけれども、先ほど会長が説明してくれたとおり、ボランティアが集まった人数で、できる範囲の仕事をすることになります。集まらなければサポートをしない。そのように考えています。

これは1年間試行的にやってみて、課題が多かった場合、従来の方法に戻すという前提で、先ほど説明させて頂きました。いたってシンプルな回答になりますが、できる範囲のことを、できる人が行うという話になります。

案1の「むこサポ」の位置付けについては、こちらは募集人数が集まらなかった時、補充のボランティアとなります。1家庭1役にすることによって、現在の係人数よりも大幅に減っていますので、そこでも人数が足りなかった場合を想定しています。人数不足の場合のサポートということで積極的にボランティアに関わっていただける意思がある方にお手伝い頂くとということになります。「むこサポ」は、1部隊というような形で、ご認識いただければと思います。

### 副校長先生

案1と案2の違いは、案1は今までのものを確保しながら、創造的な部分については「むこサポ」使っていきたいと思います、言うことですね。案2については、これはチャレンジだと思うんですね。リスクがある中で、子どもの成長をサポートしたいという思いを全面に出した取り組みかなと思います。

要は、サポートが集まることを前提としています。義務じゃない。お家の方の、家庭の方の権利です。サポートしたいという権利を使って頂きたいという思いが強くなるのかなと思います。もちろん理想論かもしれないですが、執行部が言っているのは、試行的にということです。もしかしたら、ここで皆さんの創意が結集されて、学校で何かしたいなって思いが上がっていければ、良いのかなと思います。

### 学級代表 4年生

最初にお伺いしたいのですが、案1と案2を、いつどのような形で決めるのかを教えてくださいなと思います。

### 副会長

皆様のご意向をお伺いして、もしこの場で案1、案2のどちらで進んでいくか、はたまたその中間に行くのか、皆様のご意見をお伺いした上で、もう準備に入らなければいけない時期になります。もう取り組みとして、開始しても良いですか、という問い掛けになります。

### 学級代表 4年生

現状として、今、各クラスの学級代表を決めるのでさえ、もう沈黙で、すごく空気が重いことが大半だと思うんですね。そんなことないよっていう方は、恐らくいないと思うし、毎年4月の保護者会の日に決めるから仕方なく来るみたいな感じの方が、恐らく半分以上だと思います。その中で、案2を採用した場合、ただでさえ学級代表を決めるのが難しい中で、担任の先生にインタビューとか、学級代表の仕事が増えてくるわけですね。これを来年に説明した際に、どうなのかなと思います。より学級代表をするやる気が遠のいてしまうのではないのでしょうか。6年生などは、毎年のようにやっている方が、もう仕方なく引き受けてくれる感じがあるので、結局やれる人がやるっていう状況に既になっていると思います。

ボランティアという形をとると恐らく、今までの状況から考えると決まらないことが出てくるか

もしれないです。規定人数まで集まるかって考えると、ちょっと正直難しいんじゃないかなと思っています。

その後、執行部なり、取りまとめをしている委員が、再度サポートする方を募ったりするっていう手間を考えると、やっぱり最初からある程度、公平性ということも考えて、第一段階で、案1で行って、また次の段階で案2に持っていくっていうことが良いと、お話した中で思いました。いきなり案2を取り込むのは、かなりチャレンジだと思います。また、現状の家庭数を考えて、まずは案1の1家庭1役から進めるのが、良いと思います。

### 学級代表 3年生

そもそもなんですけれども、近年のこの空気としては、こういう方向に行くんだらうなって、いうのは保護者として薄々感じるころは、学校だけじゃなくて社会的にあると思います。

今回、どういったところからこの発想がでてきたのでしょうか。例えば、どこかモデル校があって、それを参考にされたとか、教育委員会の方からこういう話が出てきたんだとか、そういうところを提示していただけると、こちらも考えやすいかなと思しました。

### 副会長

1家庭1役の案1に関しましては、以前から会員の皆様よりご意見として要望があった件です。昨年の第3回運営委員会でも、旧執行部さんが行ったアンケートで、ご意見を頂きました。お子様が多いご家庭の方からは、1家庭1役にして欲しいという意見が多数ありました。全くそのとおりだと、私たちも受け止めています。

案2の方は、副校長先生からお知恵をいただきました。

### 副校長先生

背景は、様々あります。ある学校が、「〇〇サポート」というのをやっていて、学校全体の意識がそういうふうに助けたいという想いがあることをすごく感じました。

私も担任のころ、子供達に授業で力をつけさせたいと思って授業をしていました。今日この時間で、この項目の学習を終わらせたい、なんて思ったことは、一回もありません。だから自分が考えた案が、子供の反応で進まない時は、そのことに寄り添って対応していました。私の考えてた案が、子どもの意見によって5分しか進まないという状況があっても、これは子どもの実態に沿ってやった結果だから、自分としては満足なんです。自分の案が足りなかったっていう認識で、そこをどう埋めようかって、次に考えればいいんです。そういうふうにして目的を大切にしたいんです。

やらねばならぬだと、義務感しか残りません。ボランティアをしてくださった保護者の方が「なんか疲れたけど、子供の頑張った姿を見れたから、ボランティアをして良かったな」と感じられることが大切だと思います。せっかく使って頂いた時間を、すごく満足して欲しいなと思うんです。そこには主体性が基盤になければいけないと考えます。

これは大阪や横浜の小学校PTAが、少しずつやっていますね。これには時間がかかっていると聞いていますが、本校もそういった流れを受け、第一歩を踏み出しても良いかなと感じています。ご意見にあった想定されるリスクは、先ほどおっしゃったとおりだと思います。集まんないんじや

ないかな。その部分っていうのも解決案が出せればいいんですけども、、、その部分が出てこない場合は、少し考えなきゃいけないところも出てくるのかと思います。あくまでも試行的に、どういうふうにやっつけていこうか、皆さんの反応を見ながら、やっつけていく必要があると考えます。

先ほど、3年生の学級代表の意見のとおり、社会的には今こういう流れに実はなっています。PTAは学校に付随している組織じゃなくて、1団体だと思っただけですね。ですので、1団体の活動が義務的になってしまうと、子供が気の毒だと思います。子供をサポートするのが大人の役目ですから。私たちが小さい頃にサポートしてもらったようにです。

実際の運営上は、どうなのかについては、本当に新しい試みになると思います。だから、先ほど言っていたように案1をファーストステップにして、次に案2っていうのが、1つなのかなって思います。でも、執行部が無難に案1で行きましょうと言うよりは、案2で行きましょうと力強く押し進めてくれる方が、私はずっとついていく立場だったら、頑張ろうかな、という気持ちになります。

### 学級代表 2年生

今回、代表で来ているということで、皆さんが知っているわけではない中で、代表としてどう決めるかというのは難しいところがあります。直ぐこうした方が良いですと言いつらいところがあります。

案2は、蓋を開けてみないと正直わからないところもあり、永久免除権を持っている方が、どれだけ手を挙げてサポートしてくれるかっていうところが、根底になってくると思います。

案2を進めながら、落としどころとしては案1かなと思います。すぐ代替案が浮かばないので、ここら辺が良いのかなと思います。

### 学級代表 1年生

まず、案1の1家庭1役については、元々皆さんの意見でもあるので、良いかと思います。

案2についても、皆さんおっしゃられたとおり、集まらないんじゃないか、という懸念は確かにあるかもしれないけど、副校長先生のお話を聞いて、やっつけていく上で良いことはあるんじゃないかなと思います。

この案1の中の部分的なところを案2にするとか、そういう柔らかいところも検討していったら良いかと思います。

### 学級代表 6年生

6年生の代表の意見からとしては、恐らく学校と執行部の方たちは案2で進めて行きたいと推測しています。私たちも、どうせやるのであれば、やったことない形でやってみたら良いんじゃないかということで、案2をやったらいいのではないかと思います。

ただ、先ほど言われたように集まらなかった時は、どうしたらいいのかっていうことを、きちんと考えておくっていうこと。後、事前にこういうふうに変えていきたいということをお手紙で配布して、お手伝いがどれくらい集まるかということを知りたいのではないかと考えています。

また、執行部と専門委員会に関しては永久免除権が恐らく欲しい方もいるかと思っていますので、こちらは付けてあげた方がいいのではないかと考えています。

### (3) 今後の活動予定

- ①年内にミマホルメから、案1と案2のどちらで進めるか、全家庭に向けてアンケートを実施します。
- ②アンケートの結果を元に、今後の方向性を検討・決定していきます。

## 8 各委員会からの連絡事項

### 【役員選出委員会】

11月14日に互選会を開催し、各役職の候補者を決定致しました。

後日、候補者を公示し、12月2日の信任投票を経て、来年度PTA執行部および会計監査が決定致します。

### 【校外委員会】

次期役員選出のため1～5年生のPTA会員に立候補を募ります。

- ・立候補募集用紙配布 12月3日(金)
- ・立候補締切 12月10日(金)
- ・立候補者公示 12月24日(金)

※立候補者が定員5名に満たない場合、再募集となります。

## 9 学級代表への連絡事項 <保護者会で皆様へお伝えいただきたいこと>

「ミマホルメの【アプリまたはメールアドレス】のご登録がお済でない方は、速やかに1児童1登録をお願いします。今後は、係活動や重要なお知らせもミマホルメ一斉メールで配信していきます。PTAからのお知らせを受信できるようご協力をお願いいたします。尚、ミマホルメについてはPTAが管理していますので学校への問い合わせは、ご遠慮ください。

## 10 質疑応答

特になし。

## 11 次回のPTA運営委員会のお知らせ

第4回PTA運営委員会は令和4年2月17日(木)10時からを予定しています。

各クラス1名での出席をお願いします。腕章の回収を行いますのでお持ちください。

ランチルームセッティング当番は2年生です。15分前にお手伝いをお願いします。

(運営委員会終了後、予算委員会を行います)

以上の報告となります。

ご質問がある場合は、執行部メール ([mukosyopta@yahoo.co.jp](mailto:mukosyopta@yahoo.co.jp)) までご連絡ください。  
今年度も流動的となることが想定されますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。